



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998 ☑(076)221-5398

国際会長主題	「愛をもって 積極参加」
アジア会長主題	「参画、そして感動を！」
西日本区理事主題	「一人はみんなのために、みんなは一人のために」
中部部長主題	「こころ熱くし、今日も輝く」
金沢犀川クラブ会長主題	「もっと元気に 金沢YMCA」
会長: 川村孝治 副会長: 平口哲夫 書記: 高木啓一 会計: 北 肇夫 直前会長: 川上 明	

今月の聖句 わたしが与える水を飲む者は決して渴かない。私と与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。

ヨハネによる福音書 4. 14

2007年2月 強調月間

TOF・CS・FF

ワイズにとどまらず周りの人たちにも地域奉仕活動を広めましょう。

TOF・CS・FFを理解してもらい、より大きな支援となるように！

石倉 尚 地域奉仕事業主任

<p>☆☆☆2月第一例会案内☆☆☆</p> <p>日時: 2月18日(日)17:00~19日(月)9:00 場所: 簡保の郷白山尾口 白山市瀬戸卯 43-3 TEL: 0761-96-8080 会費: 20,000円(会員18,000円) ***プログラム***</p> <p>司会: 作田 君 開会・点鐘: 川村会長 ワイズソング: 一同 今月の聖句: 司会者 ハッピーバースデー: 川村会長 食前の感謝: 平口君 -----会 食-----</p> <p>協議 1) 会則変更の件 2) 次期会長並びに役員決定 3) 金沢クラブ60年 4) 西日本区大会の件 5) 物品(ぜんまい)販売の件 6) これからのクラブのビジョン</p> <p>事業委員報告: 各委員 ニコニコタイム: 北君 閉会・点鐘: 川村会長</p> <p>今年度会費後期分を納入願います。 第一例会に使用済み切手をご持参ください。</p>	<p>☆☆☆1月例会報告☆☆☆</p> <p>[第一例会] 金沢クラブ1月例会参加をもって第一例会に替える。 日時: 2007年1月18日(木) 18:30~20:30 場所: 金沢ニューグランドホテル 出席者: 川村君・北君・作田君・高木君 平口君・三谷君</p> <p>[第二例会] 日時: 2007年2月1日(木)19:00~21:00 場所: 北間楼 出席者: 川村君・北君・高木君・平口君・三谷君</p> <p style="text-align: center;">中部メネット会</p> <p>日時: 4月14日(土)・15日(日) 場所: 加賀市片山津温泉郷 あたかや佳水郷</p> <p style="text-align: center;">第10回西日本区大会</p> <p>日時: 6月9日(土)・10日(日) 場所: 松下IMPホール・ホテルニューオータニ</p> <p>今月のハッピーバースデー</p> <p>三谷君 2月25日 三谷メネット 2月14日 川村メネット 2月20日</p> <p>3月の当番 司会者 北君 準備 高木君</p>
--	---

1月在籍者		1月出席者		1月出席率		BFポイント		ニコニコタイム	
正会員	7名	メン	6名		85.7%	1月分切手	140g	1月分	0円
広義会員	0名	メネット	0名	メイキャップ	0名	今年度累計			
		コメット	0名			切手	1,200g		
		ゲスト	0名			現金	0円		
合計	7名		6名		85.7%			累計	58,772円

金沢クラブ1月例会卓話を聞いて

ブリテン担当 三谷信三

平口君の卓話「鯨食文化の伝統」を聞いて、まず戦時中の学校給食と戦後の缶詰を思い出したが、テーブルに出された鯨の赤肉刺身とベーコンを見てイメージが一変した。わが国では縄文時代から鯨類を捕獲していた事は、能登町の真脇遺跡から出土した大量のイルカ骨により証明されている。長い海岸線を持つ石川県では、美味しい魚を年中食べる事ができる。幕末、長崎留学中に藩命によりイギリスに密航留学した関沢明清は近代漁業を学び、明治維新後、巾着網漁の基礎を確立、缶詰等の試作を行い水産研究所（東京水産大学の前身）の初代所長を務め、日本近代捕鯨の先駆的働きもした。加賀藩士の齊藤知一も明治期、北海道羽幌に渡り捕鯨を始めた。このような先達を有する石川県からは多くの船乗りが輩出した。かつて小学校の教科書に載った、青函連絡船東海丸の久田佐助船長も能登町の出身である。捕鯨協会提供の珍味、鯨の刺身を賞味しながら歴史の流れを実感した。



(イワシクジラの特製赤肉とベーコン)

2月の強調月間標語に関連して

地域奉仕担当 川村孝治

TOF : Time of Fast 断食のとき（一食分をワイズメンズクラブ国際協会の事業資金に。今期から5年計画でストップ HIV/AIDS プロジェクトのために使われます。）

CS : Community Service 地域奉仕（地域に根ざした奉仕活動を支援いたします。）

FF : Family Fast 家庭での断食（一食分をアジアの厳しい状況にある子供たちのため西日本区が設けた事業資金に。）

地域奉仕事業は、ワイズメンズクラブにとって、YMCA サービス事業とともに大きな事業の一つです。いま、金沢にはいろいろな問題がありますが、外国人労働者の子供たちの環境問題（言葉の問題も含めて）には私たちでも取り組むことができることがあるのではないのでしょうか。

何か事業を始めるにも、犀川ワイズだけではメンバーが少なすぎて荷が重い感じがしますが、金

沢 YMCA が中心になり、金沢クラブ、犀川クラブが応援するという形をとればできるのではないかと思います。

金沢市は数年前からドーナツ化現象が起きて、片町、香林坊などの繁華街には多くの空きテナントがあります。これを行政とのタイアップで格安で借受け、オープンハウスを開き、子供たちを支援するとよいのではないのでしょうか。そのたたき台を犀川クラブで考えていきたいと思っていますので、ご意見をお寄せください。

インターネットの活用について

HP 担当 平口哲夫

金沢犀川クラブではホームページやEメールを活動に利用しています。ブリテンもPDFにしてHPからダウンロードできるようにしてあります。今のところパソコンを日常的に使用しているのは、メンバー7人中5人ですので、残りのお二人の使用環境が早く整うことを願っています。ご入院中の川上前会長におかれては一日も早くご回復くださいますようお願い申し上げます。

ホームページについてはいろいろなアイデアを実現する道が開けています。その一つに会員個人のページがあります。それ用の原稿と画像をお寄せいただくだけでなく、作成者が取材に伺うという方法も考えられます。近いうちに実現したいと思いますので、よろしくご協力願います。

クラブのメンバー同士の場合、毎月顔を合わす機会があるので、ネットの利用がお宅化する心配はありません。ネット仲間では直接会って交流するのをオフ会と称していますが、当然のことながらクラブの交流はオフ会が主であって、ネット上での交流は補足的なものです。しかしながら、西日本や中部などの主催する集会は毎月あるわけではありませんし、毎回参加するというのも人によっては難しい場合があります。その点、ネットによる交流は時空の障壁なしにできるという長所を持っています。

ただし、人によっては口頭での会話は上手でも、文字によるコミュニケーションは苦手という人もいます。また、Eメールや掲示板やチャットなどでの議論は、過激になりがちだという問題もあります。実際、インターネットを利用し始めて間もないころ、知人に誘われて某サイトの掲示板やチャットの常連になったことがあるのですが、心情を害する発言や誤解・曲解を繰り返す人がいて、とても不愉快な思いをしました。もちろん、口頭による場合でも、うまくいかない例はいろいろ経験していますから、要はそれぞれの長一短をわきまえ、長所を活かし、短所を抑制するように心がけることだと思います。

ウェブ用のマイク内蔵ビデオカメラをパソコンに装着すれば、テレビ電話のようにリアルタイムに会話することができます。これを遠隔地同士の交流に活用してみたいと思いませんか。